

結核ノ豫後測定ニ關スル諸反應ノ比較

醫學博士 大角 眞 八
慈惠醫學士 飯田 喜久

一、緒言

結核ノ豫後測定或ハ「アクテキープ」又ハ「インアクティヴ」ヲ決定スル方法ト稱セラル、モノハ近來非常ナル數ヲ以テ算ヘラレ一々枚擧ニ違アラズ。就中最近ソノ興味ノ中心トナリツ、アルモノハ所謂蛋白「リポイード」反應ニシテ直接間接コレニ偶スルモノトシテハ「グロブリン」反應、補體結合反應及赤血球沈降速度測定等ヲ主ナルモノトス。補體結合反應ニ就テハ Bestedka 以降 Wassermann ノ方法マデ多數コレヲ論議サレツ、アレ共之ヲ他日ニ譲リ余等ハ赤血球沈降速度測定及マテフキ一氏反應ヲ試ミ尿ノ「チアゾ」反應及「ウロクロモーゲン」反應、血中ノ「ビリルビン」含有量測定、淋巴球検査ヲ同時ニ行ヒテ之ヲ比較シテ次ニ結果ヲ得タリ。

二、實驗方法

(一) 赤血球沈降速度測定

採血及方法

肘靜脈ヨリ五坵ノ血液ヲ採ル Linzenmeier 氏ノ沈降反應試驗管ニ五%ノ枸橼酸「ナトリウム」ヲ目盛一〇(即チ〇・一坵ニ相當ス)ダケ取り前記ノ血液ヲ該試驗管ノ零ノ標マデ入レ前液トヨク混和シテ室溫ニ於テ沈降速度ヲ觀察ス。余等ノ實驗ニ於テハ三十分後ノ目盛ヲ以テ判定ニ資シ健康者ノ平均速度ヲ五トナシ之レノ何倍ニ相當スルカヲ觀察セリ。

(一) Meulengracht 法ニヨル血中「ビリルビン」含有量測定

方法。赤血球沈降速度測定ニ實施セル残りノ血液ヲ用フ。豫メ二%枸橼酸「ナトリウム」ノ二乃至三滴ヲ容レタル小試験管ニ此血液ヲ取リテ凝血ヲ防グコレヲ冰室ニ貯ヘ置キテ生ゼル血漿ヲ翌日用ヒタリ。生理的「ビリルビン」係數ヲ〇・八ト爲シ重「クローム」酸「カリウム」ノ一萬倍溶液ヲ以テ標準液ト爲ス。標準液ヲリンツェンマイヤー氏同大ノ試験管ニ一坵取リ他ノ一本ニ血漿一坵ヲ取リ前記標準液ト同一程度ノ色調ヲ呈スルマデ〇・九%ノ食鹽水ニテ稀釋シコノトキニ追加シタル食鹽水ノ量ガ幾牝カラ讀ム。ソレハ即チ稀釋倍數ナリ。余等ハ此ノ方法ヲ以テ患者體內ニ於ケル溶血度ヲ間接ニ知ラント欲セリ。

(二) Matfy 氏反應

方法。〇・五%ノ硫酸「アルミニウム」液ヲ原液トナシコレヲ試験ニノゾンデ十倍ニ稀釋シテ一坵ヲリンツェンマイヤー氏試験管ト同大ノ試験管ニ取リ患者ノ血漿〇・二坵ヲ加ヘ振盪混和シテ室溫ニ放置シ管内ニ雲絮狀ノ沈澱ヲ生ズルヲ觀察シ次ノ如ク判定ス。十五分間ニシテ管底ニ雲絮狀ノ沈澱物ヲ生ズルヲ強陽性ト爲シ符號(卅)ヲ以テ之ヲ示シ十五分ヨリ三十分間ニ發現スルヲ符號(卅)ヲ以テ現シ三十分ヨリ一時間ノ間ニ生ゼル場合ニハ(卅)ヲ以テ記シ一時間ヨリ一時間半ニシテ出現セルトキハ(十)ヲ以テ成績ヲ現シタリ。

(四) 「ウロクロモーゲン」反應

方法。可檢尿ヲ三倍ノ水ニテ稀釋シ之レニ〇・一%ノ過「マンガン」酸「カリウム」溶液ヲ滴下シ美麗ナル黃色ヲ呈スルトキハコレヲ陽性ト爲ス。

(五) 「チアツォ」反應。方法説明略ス。

(六) 淋巴球ノ百分比例

方法。ギムザー氏染色法ヲ施シテ百分率ヲ出ス

三、試驗成績

余等ノ施行例バ僅々二十餘例ナルモ之ヲ表記シテ比較ニ便セントス。

備考

一、病體

大……一葉以上。 中……一葉以上。 小……肺炎肺門ノ一部或ハ肋膜

二、熱

高……三十八度以上。 中……三十七度以上。 低……三十七度以下

三、「ブルス」

多……八十至以上 中……七十至以上。 少……七十至以下

姓名	性	齡	赤血球沈降速度	マテナー氏反應	モイレンクラシハント氏ベリルペン係數	淋巴球	チアコク反應	「クローム」反應	熱	脈	病體ノ大サ	試驗當時ノ一般狀態	豫後
某	♂	21	14倍	非	2.0	19%	(-)	(+)	高	多	大	不風	不風
某	♀	35	12.5,,	非	2.0	27%	(-)	(-)	低	多	大	不風	不風
某	♀	19	4.5,,	-	2.3	30%	(-)	(-)	低	中	小	不風	不風
某	♀	25	8.0,,	非	2.0	20%	(-)	(-)	低	多	大	不風	不風
某	♂	42	4.6,,	非	3.5	16.2%	(-)	(-)	低	多	大	不風	不風
某	♂	19	7.4,,	非	3.0	18.0%	(+)	(+)	高	多	大	不風	死
某	♂	20	11.0,,	+	4.0	22.2%	(-)	(-)	中	多	中	不風	不風
某	♂	45	11.4,,	非	2.0	21.1%	(-)	(-)	低	多	大	不風	不風
某	♂	23	6.6,,	非	2.0	26.2%	(-)	(-)	低	小	小	不風	不風

■	♂	44	13.4,,	■	5.0	8%	(+)	+	高	多	大	不良	不良
■	♂	20	13.0,,	■	3.0	19.5%	(+)	+	高	多	大	不良	不良
■	♀	25	5.0,,	++	3.0	41.5%	(-)	-	中	中	小	良	良
■	♂	60	4.0,,	-	4.0	43%	(-)	-	低	中	小	良	良
■	♀	27	6,,	++	5.0	29.5%	(-)	-	低	中	小	良	良
■	♂	45	11.0,,	■	4.0	27.4%	(-)	-	中	多	大	良	不良
■	♀	36	8.0,,	■	4.0	15.%	(-)	-	低	多	大	良	不良
■	♂	23	6.0,,	++	2.0	20%	(-)	-	低	中	中	良	良
■	♂	35	4.0,,	+	7.0	21%	(-)	-	低	中	大	良	不良
■	♂	45	8.0,,	++	4.0	45.5%	(-)	-	中	小	小	良	良
■	♂	32	2.0,,	-	3.0	41.5%	(-)	-	低	中	小	良	良
■	♀	18	5.0,,	+	2.5	33.3%	(-)	-	低	中	小	良	良
■	♀	25	1.6,,	+	3.0	47.2%	(-)	-	低	中	小	良	良

四、總括

以上ノ表ヲ以テ見ルニマヅ血球沈降速度ニ於テ余等ノ實驗セルモノニ於テハ健康者ノ十倍以上ノ速度ヲ示スモノ一般状態及ビ豫後ノ不良ヲ示シ病竈ノ大サモ之ニ併行スト雖モ中ニハ死ノ轉歸ヲ取レルモノニシテ十倍以下ノモノアリ。

マテフイー氏ノ反應ハ(卅)以上ハ不良ナルヲ示スモ死ノ轉歸ヲ取レルモノニテ(卅)ノモノアリ。

モイレングラッハト氏「ビリルビン」測定法ニ於テハ患者ハ少ナクトモ二以上ノ系數ヲ示スト雖モ豫後ノ測定或ハ臨牀ノ所見ニヨル病症ノ輕重ト比例セズ。

淋巴球ハマヅ健康者ノ平均數ヲ二〇%トスレバコレ以下ヲ示ス患者ハ大體ニ於テ不良ト稱スルヲ得。

デアツォ及ウロクロモーゲン反應陽性ヲ示スハ全部不良ノ結果ヲ示セリ。

文獻

- 1) **Besredka**, *Comptesrend. de l'Acad. des Sciences*, 1913, p. 1633. 2) **Wassermann**, *Deutsche med. Wochenschrift*, 1923, Nr. 10. 3) **Lincolnmeier**, *Sammelreferat über d. Blutkörper-Senkungs-G.*, *Deut. med. W.* 1922, Nr. 30. 4) **Menlengracht** (小林義雄) *血液膽汁色素ノ定量*. 大正十四年一月二十四日. 醫事公論). 5) **Matejly**, *Eine neue Blutserumreaktion z. Bestimmung d. Activität d. T. b. c.* 1923. *Med. Klin.* Nr. 21.